

民間ロケット射場誘致推進室を開設

役場古座分庁舎で4月から本格稼働

串本町が国内初の民間ロケット射場の有力候補地となったことから、和歌山県と協力して用地交渉などを進めるために「民間ロケット射場誘致推進室」が設置され、3月30日に串本町役場古座分庁舎で開設式が行われました。



推進室の看板の前で記念撮影を行う県産業技術政策課の佐久課長（左）と田嶋町長

開設式では、田嶋町長が推進室の看板かけを行い、佐久秀弥和歌山県産業技術政策課長と記念撮影を行いました。田嶋町長は「皆さんにご理解をいただけるように取り組みを進め、町の活性化を考え、この串本の空にロケットが舞い上がることを夢み、事業が成功するように頑張っていきたい。」と意気込みを語りました。



式には多くの報道関係者が取材に訪れました

南紀串本観光協会を新たに設立

観光に関わる4団体が統合

串本町観光協会と古座観光協会が3月31日付けで解散し、4月1日から「一般社団法人 南紀串本観光協会」として新たに設立。3月31日にJR串本駅にある事務所を除幕式が行われました。平成17年4月の町合併後も、旧町にあった観光協会がそれぞれのエリアで活動していました。平成29年6月にそれぞれの総会、役員会で共同設置の提案があり、検討会を重ね、一層の観光振興を



串本事務所前でのテープカットの様子

図ろうという趣旨で統合が決定しました。南紀串本観光協会は、串本町観光協会、古座観光協会、串本町教育旅行誘致協議会、串本アウトドアフェスティバル実行委員会の4団体が統合されて発足。事務所はこれまでと同じく串本と古座に置かれます。また、古座観光協会は「南紀串本観光協会古座」と名称を改め、レンタルカー等々の体験型観光の拠点として位置づけます。



古座事務所前であいさつをする島野利之観光協会会長

日ト友好の地を念願の視察

ターキッシュ・エアラインズ東京支社長来町

昨年2月にターキッシュ・エアラインズ東京支社長に就任したメフメット・アカイ東京支社長一行が4月12日から14日にかけて串本町を訪れました。

就任して以来、串本町への訪問を希望されていたアカイ東京支社長は、多忙な業務の合間をぬって今回の訪問を実現。13日に田嶋町長を敬訪問し「串本町にはトルコの物がたくさんあり、まるでトルコにいるような感覚で嬉しくなりました。エルトゥール号遭難事件から128年経った今でもこの

ように友好を守ってくれていることはありがたいこと。一緒にイベントを開催するなど、トルコ航空としてできることはすべてしたい。」と感想を述べました。

その後、トルコ軍艦慰霊碑へ献花を行ったほか、旧養春小学校内のエルトゥール・リサーチ・センターやトルコ記念館、串本海中公園などを視察されました。

慰霊碑へ献花したアカイ東京支社長は「離れていてもトルコと日本が絆で結ばれていることを実感できて感動した。」と話されました。



歓談するアカイ東京支社長（左）と田嶋町長



慰霊碑へ献花するアカイ東京支社長

永年の功績に深く感謝

前地武弘・前病院事業管理者に感謝状贈呈

3月末日をもって退任された前地武弘・前病院事業管理者に3月23日、田嶋町長から感謝状と記念品が贈呈されました。

前地・前管理者は、旧串本病院時代から30年以上にわたり近畿大学医学部との関係構築に尽力され、くしもと町立病院では初代の病院事業管理者として地域医療の発展に貢献されました。



感謝状を受け取る前地・前管理者

絵本で史実を伝えたい

エルトゥール号遭難事件の創作絵本を寄贈

4月4日、白浜町でトルコ雑貨の輸入販売や飲食店経営などを行っている株式会社KCR（本田景士代表取締役）より、エルトゥール号遭難事件の史実を基に創作した絵本「タイヨウのくにとツキのふね」3冊が寄贈されました。本田代表取締役は串本町出身で、小さな子どもにも史実が伝わるようにと絵本を制作。寄贈された絵本は、町図書館の子どもへの読み聞かせなどに活用する予定です。



絵本を寄贈する本田代表取締役（左）、マネージャーの山口小百合さん（中央）と田嶋町長